

# 内田みえこの成績表 私が約束した政策の4年間の実績と自己評価です

約束した政策	自己評価	実績・進捗状況
【選挙改革】・マニフェストの作成と成績表の作成・公表	90点	1年に一度、マニフェストの進捗状況をホームページで公開し、4年目に成績表を作成・公表したが評価の仕方が今後の課題。
【議会改革】・委員会のライブ中継の実施 ・公聴会、参考人制度の活用 ・議会報告会の開催、執行部への反問権の付与	80点	委員会のライブ中継の実施、執行部への反問権の付与、参考人制度の活用が実現しました。議会報告会は現在、検討中。
【行財政改革】・全事業の見直し ・行政のスリム化	80点	行政評価と事業仕分けによる事業のスクラップは目標達成。「提案型公共サービス民営化制度」を十分に活用することが今後の課題。
【企業誘致】・4年間に1社	評価なし	市が誘致したのではないが、我孫子市緑にカスミストアがオープンし、雇用の確保に貢献。
【まちづくり】・公園坂通りの早期完成・我孫子散歩コースの整備 ・“あびこ市”新設 ・レストハウスの新設	30点	公園坂通りは手賀沼文化拠点整備計画で平成27年度から整備予定。“我孫子散歩コース”の整備は進んだが“あびこ市”やレストハウスの新設は今後の課題。
【医療 1】・子ども救急医療相談の充実 ・小児救急医療体制の強化	70点	“子ども急病電話相談”のお知らせを「広報あびこ」で毎回掲載し周知が図られた。取手協同病院と受け入れ協定を結んでいるが、来年、名戸ヶ谷あびこ病院が開院されれば小児救急体制は一層強化される。
【医療 2】・がん検診の充実 ・小・中学校で禁煙教育	50点	各種がん検診の受診率が低いので、受診率向上のための取り組みが今後の課題。学校での禁煙教育は実施されている。
【教育】・30人学級 ・全校の耐震改修工事の早期実現 ・公募の教育委員の採用	60点	小学校の1、2年生は、ほぼ30人学級。課題は学校や学年のばらつきの解消。耐震改修工事は平成23年度中に完了予定。公募の教育委員は今後の検討事項。
【地域コミュニティ】・地域協議会の検討 ・助け合いの仕組みづくり ・地域福祉マップの作成	50点	地域協議会の前段として、地域の団体や個人が一堂に会する「地域サミット」を提案した。地域によっては様々な取り組みが始まっているが地域差が大きいのが現状。
【子育て支援】・“ホットステーション”の設置 ・駅前保育所の設置	90点	様々な場所で親子が集い交流する子育てサロンが開かれるようになった。平成24年4月に我孫子駅北口に「駅前保育所」「ほけっとランド我孫子」が開園予定。
【環境】・地球温暖化条例の制定 ・環境家計簿の普及	30点	条例の代わりに「あびこエコプロジェクト3」を策定。環境家計簿の普及を市とNPO「エコライフあびこ」で取り組んでいるが苦戦中。
【交通】・成田線の朝・夕の通勤時間帯に上り下り1本の増発	10点	具体的な増発案を費用負担も含めてJRに提案しているが、現在の利用状況では難しいとの回答があり苦戦中。

※政策と「内田みえこの成績表」の詳細はチラシ・ホームページ等でお伝えします。

## 4年間の活動あれこれ



講演会『百年に一度の大不況』を主催し、激動する社会情勢を学びました。



市民活動団体の皆さんと、混迷する国会を見学しました。



若い世代の定住化策として、流山市の「駅前保育所」を視察しました。



農業の活性化のために、イトーヨーカ堂の野菜を栽培している「セブンファーム富里」を視察しました。



会派「政策グループあびこ」のメンバーと岐阜県多治見市役所を訪問し先進的な行財政改革を学びました。

一歩、一歩 未来への責任を果します。



## 内田みえこプロフィール

1950年 静岡県榛原郡金谷町(現島田市)に生まれる。静岡大学付属中学校、県立掛川西高校、昭和女子大学英米文学科卒業後、現三井住友銀行で外国為替業務に従事。  
2003年 我孫子市議会議員に初当選 現在2期目 環境生活常任委員会委員長  
活動履歴 根戸小PTA会長 布佐南小学級委員連絡協議会副会長 国際交流協会日本語教室講師 我孫子市行政改革市民推進委員会委員長 「あびこ雑学ねっと」代表を歴任。  
所属団体 あびこ女性会議 消費者の会 エコライフあびこ 「がんばろう、日本!」国民協議会同人

■発行 「内田みえこ我孫子をデザインする市民ネット」  
〒270-1108 我孫子市布佐平和台2-18-10  
TEL.04-7189-8137  
FAX.04-7139-8859  
e-mail:mieko50@jcom.home.ne.jp

## 「あびこの風」No.39 特集号

# 今を生きる大人たちの “未来への責任”

我孫子市議会議員

# 内田みえこ

www.uchida-mieko.com



## 東日本大震災は歴史的転換点。私たちは、このままでいいのでしょうか。

千年に一度という未曾有の東日本大震災は、“想定外”の連続でした。マグニチュード9の大地震。波高10m以上の大津波。そして極めつけは福島原発事故と放射能汚染、そして電力不足による節電。

まさか我孫子市で液化化による大きな被害がでるとは。

まさか我孫子市が(福島原発から約200km)放射能に汚染されるとは。

今回の大震災は私たちの考え方やライフスタイルを大きく変えました。

そして、これまで多くの人が薄々感じながら真剣に向き合うことを避けてきた「不都合な真実」(21世紀の課題)と否応なく向き合わざるをえない状況を生み出しました。

このままでは子どもたちの未来はない。

持続可能な社会を創ることが、今を生きる大人たちの未来への責任であると・・・



振り返ってみると私の人生も想定外。1950年生まれの私はポスト団塊の世代。高校まで地方で暮らし、大学に入学するために上京。東京で就職、結婚して、首都圏のベッドタウンである我孫子市に転居。私たち世代のお決まりのコースを歩きました。

時代は高度経済成長の真っ只中。夫はいわゆる企業戦士。私は2人の子どもを育てながら、小さな英語教室を開き、“自分さがし”と称して様々な市民活動をしました。PTA、国際交流協会の日本語教室講師、我孫子市の行政改革市民推進委員など。そんな活動をする中で、「我孫子市はこのままでいいの?」という気持ちが強まり、仲間と共に“みんなで我孫子を創ろうよ”をスローガンに市議会議員に挑戦しました。ジバン・カンバン・カバンのない主婦の無謀とも思える挑戦でありました。

そして、議員生活が始まって4年目、またもや想定外のことが起きました。夫の肺がんが発覚し、2期目の選挙の投票日直前に夫は亡くなりました。

今回の大震災、ご家族や知人・友人を亡くされ、全てのものを失った方は数えきれません。突然の大震災によって、被災者の皆さんは、想定外の人生を余儀なくされています。はかなさ、悔しさ、寂しさをいっぱい抱えながら前を向いて歩いています。その姿が胸を打ちます。

想定外の事もありますが、私たちの時代は豊かさを享受してきました。その裏に潜む危うさに気づこうともしないで。そんな私たちに、これから何ができるのでしょうか?

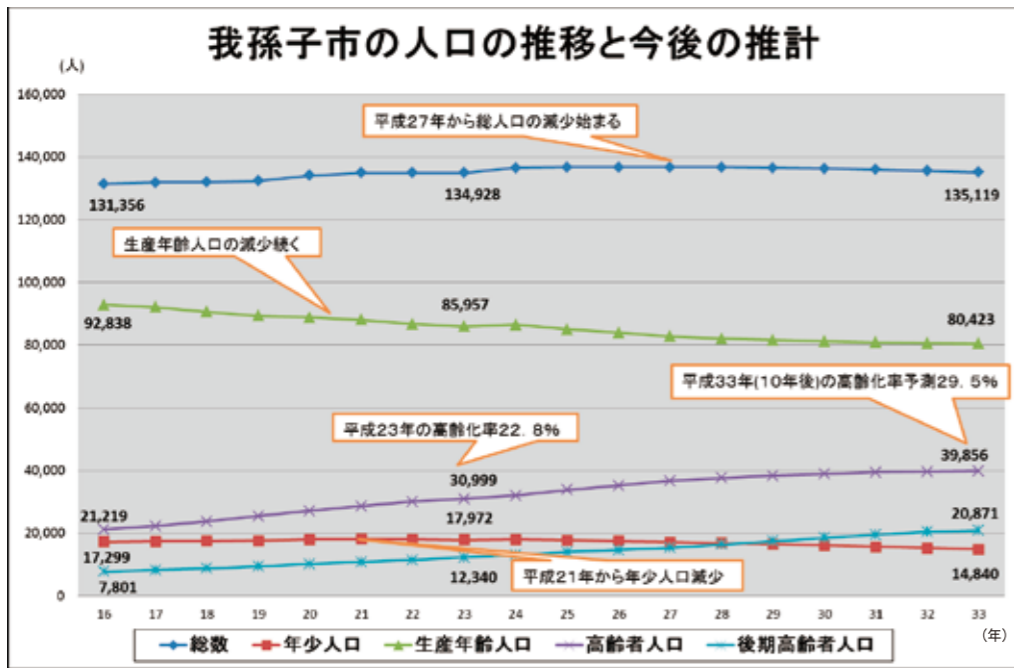
# 我孫子市の不都合な真実とは？

## 1 人口減少による生産年齢人口の減少 少子・超高齢社会における社会保障費などの増大

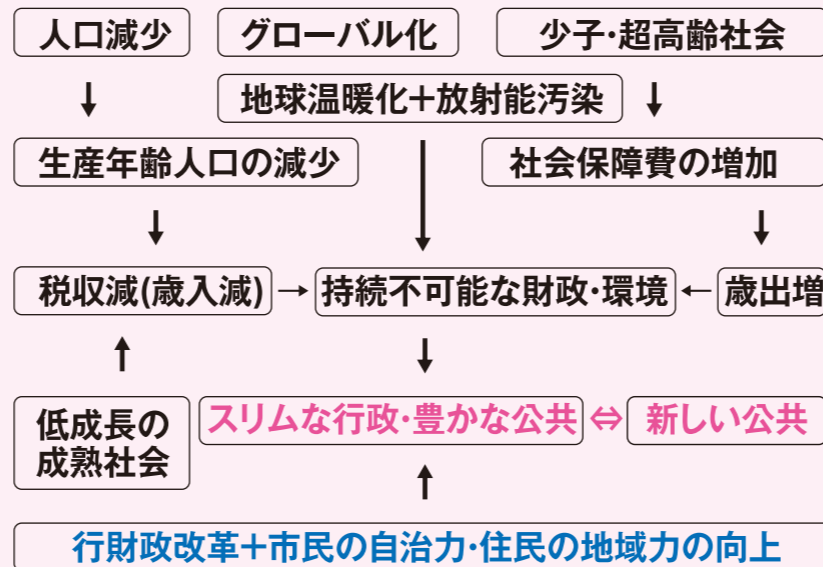
我孫子市では平成27年から人口が減少する見込み。すでに生産年齢人口は減少し続け、個人市民税の納税義務者も平成21年をピークに減少に転じ、個人市民税は前年度より約8億円減少しています。(平成22年度決算)

税収が減少する一方で、高齢化の急速な進展は民生費や扶助費の増大を招いています。平成23年の高齢化率(人口に占める65歳以上の人の割合)は22.8%となり、ここ20年間で民生費は約3倍、扶助費は約4倍、国民健康保険の保険給付費も約4倍、そして介護保険の保険給付費は9年間で約2.5倍となっています。\*

※民生費(高齢者や障害者などの社会福祉費)  
※扶助費(生活保護費や子供の医療費助成など)



### 【21世紀の課題(不都合な真実)と対応策】



## 2 税収が減少すれば地方交付税が増加し 国への財政依存が強まる

歳入が減少し歳出が増大すれば、財政状況は悪化するはず。ところが経常収支比率は6.3ポイント改善。そのカラクリは？

平成22年度決算では、我孫子市の財政の問題点であった経常収支比率は大幅に改善されました。これは、個人市民税などの大幅な減少を受け、国からの地方交付税が前年度より約13億円増加、更に前年度からの繰越分も含めて国からの5種類の交付金約4億円が交付されるなど、依存財源が増大した結果であります。\*経常収支比率は、平成21年度96.8%が平成22年度90.5%に。

### みえこのつぶやき

地方交付税の現行の分配方式では、税収が少ないほど財源不足額は多くなり、地方交付税は多くもらえます。これでは、自治体の行財政改革努力や地域活性化の努力も報われず、国への財政依存は強まります。世界一の借金大国の日本。自治体が、「もらえるものはもらわにゃ損」とか、「国の借金は関係ない」などと呑気なことを言っている場合ではありません。交付税制度の改革の声を地域からあげましょう!

## 3 放射能汚染

福島原発事故により、我孫子市を含む東葛地域はホットスポットと言われ、他の地域より放射線量が高くなっています。大気や水、土壌や農産物などの汚染が心配されています。放射能汚染への対策は喫緊の課題であります。

### みえこのつぶやき

低線量の放射線の影響は専門家により見解が分かれ、本当のところは誰にもわからないのが現状。未来を担う子どもたちに地球温暖化に加え放射能汚染という新たなツケを回してしまいました。しっかりとした対応策と一刻も早く持続可能なエネルギーへの転換をはかることが私たち大人の責任ですね。

## みんなで我孫子を創ろうよ!

## ～持続可能な社会を子どもたちに～ “スリムな行政 豊かな公共”

### 更なる行政改革 先ずは行政改革

#### 1. 議員・職員の人件費削減

最近のように公共サービスをカットしているような状況の中では、更なる人件費の削減は不可欠。今後、国の削減率に準じた削減を提案します。(5~10%削減一国の閣議決定案)

#### 2. シンプルでフラットな組織

市の職員は7等級に区分され、15のポストがあります。民間では、組織のフラット化が進んでいる昨今、人件費の削減と効率的・効果的な組織を構築するためポスト削減を提案します。

### 新しいしくみ 税金の使い道は市民が決める

#### 1. 市民参加の事業仕分け

「あれもこれも」から「あれかこれか」の事業の選択が問われる時代。これまでの事業仕分けを見直し、仕分け人の議論に基づいて市民が判定する「市民判定人制度」の導入を提案します。

#### 2. 地域交付金の創設

地域には高齢者の見守りや防災・防犯など、様々な課題があります。地域を一番知っている地域住民が、地域課題に優先順位を付け、地域で使い道を決められる「地域交付金」の創設を提案します。

### 新しい公共 NPOや市民、企業等が公共を担う

#### 1. 超高齢社会への対応

「高齢者の居場所」や「地域の便利屋」、「コミュニティキッチン」などの起業を支援します。

#### 2. 市民ファンドの創設

公共の担い手のひとつであるNPOなどの起業や活動資金の調達仕組みを検討します。

#### 3. 「提案型公共サービス民営化制度」の充実をはかります。

### 新しい価値 安心・安全、環境、子ども

#### 1. 安心・安全なまちづくり

・自主防災組織の充実をはかります。  
・災害ネットワークをつくります。  
・震災復興や水害対策に取り組みます。

#### 2. 放射能汚染への対策

・測定・検査体制を市民との協働でつくります。  
・除染に取り組みます。

#### 3. 自然エネルギーの推進

・太陽光発電の市民ファンドの創設に努めます。  
・太陽光発電設備への補助金を拡大します。

#### 4. 子どもへの投資

・保育園の待機児童0の堅持と多様な働き方に対応した保育機能の充実を努めます。  
・我孫子・天王台地区に病後児保育施設の設置。

### 新しい議会 分権時代の議会へ

#### 1. 議会への市民参加を進めるため、参考人制度や公聴会を積極的に活用します。

#### 2. 市議会主催の議会報告会の開催に努めます。

#### 3. 通年議会を提案します。

※議会の機能強化と活性化のため、1年を通して議会の会期とする。

#### 4. 議員の定数や報酬などは、市民の意見を尊重して決定します。